

新利



第一

勢くす後日を移御諸佛人、爾起成  
万民ニ加くとくと利元の移地さん故  
むろめ子せなしとたちうちノ  
勢意文隣ノ拂化制ノ百姓ノ爰々  
万民ノ追跡ノ幕法十二種作拂り  
以テ商賣ノ利とあわくハ追跡  
火ハ商實法起四ツノ法ハ錢に正利を  
たてて五實法としやめられたり  
と也

才十一 極地裏  
法十七万步尺超八トニキ  
乃ト下武天麿ハトニ六五モ  
又レハ十七万三ニニ城ニタ  
右ニシテ又レハ三百坪ニ城  
田ニ法三ニニ又レハ一反ニ城  
右十七万ノ下ニ麿ハトニ六五モ六五ニニ城  
乃ト左ニ毫ハトニちめウニ六五ニニ城ニ田ニ  
三母弓弓ニハ一反ニ三百坪ニ城

長三千万

法長三千万ニ

一反

三十六丈法三疋之

十



法ホ六万武越八七五九二疋  
八七五六又二疋ハホ六万三二  
タク左太二五二六九二八と  
タク是と三角ノ法四三二をか  
ルハ三百抒と麻田法二疋

▲主反と云

法二十九万三尺一丈下三尺と云

三尺二五三セ六五二五二九考

里八分と成是已左右三丈二尺

三七九六六五と成是、田法七九と云れ六三百

抒と成是と用は三丈で云れハ主反と云

▲右く三百抒と云ふノイヒテ長筋引と向

時ハ三百抒と右三丈六尺と云て云れハ長百

五十万と云ふニタカリトテ主反と云

# 第十二

## 十二

### 池ノ水役

一リ八丈ノ水三尺ニ及ぶ者太ニ垂切口半寸宮内  
太ノに鉢九アトナリハ半三万石ふ九鉢九束  
先代にて大ニ至て一八丈七尺れハ長九也六束と盛  
有ノ刻長或乃と又二方鉢定みノ長と言々三平方  
鉢足又と成是十五百坪ノ長と盛ニ是ニ二つ而  
と長クされハ六方室五アリ一モノ下リ並木太率  
乃ト内引八宇十三弓みハリ九もノ切口ノミニ盛  
泥ノ切口ノミニシテノ事也一色ハかん少く切  
丸木石垣等モ同敷用之開平法モ切ハ切ケ



水走方ニ千七百五十坪

走方九坪

もそ水走方

走方直

百七十坪

池を計りて東西ノ長人武百六十尺と成ニテ  
一丈百三十尺と後右ニ計又丈八尺也方々武百  
九十六尺とニツドと百三十七尺五寸と後是右ノ  
百三十尺とれ東方九千百七十尺岸之

水岸を馬ノ極前ノ中一尺中六尺南立尺  
言ト武丈一尺五寸三尺可れ、七尺と成別々金  
川河底は尺中三尺南二尺三寸八九尺三ツ  
玉れハ三尺と成右ノ別、玉七尺と入を亦三ツ  
ニツドと水尺と原是を六分にて玉れ、七六九二

丈尺也ハ方々計め四十九尺ノ長人、右ノ池を  
岸を万九千百零五寸とれハ水岸を方四千  
七百零五尺と計地右ニ六十五尺馬と云々交  
立す一尺ノ左

▲挽引とあくハ神靈何乃上口何乃毛と云々  
とりて上口筋蓋今ニツドとテサクアリト候と  
ある也と一長さくれハ挽ノ岸岸也

▲古院ニハ脇村とてソウヒナム合之何處と定  
するありと共何千尺と云々まろとテノ命

## 十三

## 舊稿卷之割

市六町又して一月七里ナリトニ二坪を被シテ  
其めやうふと小室ナガ九席六町あり一月  
一坪をカカリカキテ持と同十三人一乞云  
法三平吉町、七里カレハ武百卒二町と成  
老子大至ナシ、北陽六町あり約及十三町あり  
老子ヨリハ一日一小一人ナリテ亦ニ病と考セ  
別ニ五六十坪、一尺六丈、坪武百卒五丈あり  
一尺六丈、法國小松を久目キニ朱一色、清潤  
三百卒多義て大ナシアヒトヨリハ五尺弱  
ナリキ武ナキ本支同ニヤクハヒトヨリナリ  
ニナ事自ヒ減是モ病ニ立坪、武百卒  
ナ病モ是モ大ナシ、亦モ病ニヨリハ十三人下巻  
▲モヒ集ハ可ム、ノリ法ニトナシ水モ  
も其法自ヒ集ハつりタニノ法、水方水方と  
ノ前ハ一町、法卒方ニテヨリ一町ノ柄ヤニ定  
ナリ、一文字ヨミニ急制カキ字ハモウ  
ナリ、色名カラトコスノ演義

十五

## 薦ノ承候

長五尺五寸二三尺又半者より長  
つむこ向但緒ノ長三尺二寸半 傷口の長  
半分ノ時ハ四百八十石松と云

法ノ傷ノ長三尺二寸半と云六五三と云  
立と成る者長五尺五寸二分半と云  
又傷口をハ右長五寸二分半と云  
左を左端ノ三尺二寸半と云  
左を左端ノ三尺二寸半と云  
左を左端ノ三尺二寸半と云

右別ニ至傷口ノ割ニ又云少半と云  
ハ上ハ傷口底有自傷傷口れハ九百半  
傷口底有自傷傷口れハ四百八十石と云  
▲右ノ端ニ傷口半尺又半者より長三尺半  
ハ勿半寸とつむこ向但緒ノ長三尺二寸半  
立と成る者長五尺五寸二分半と云  
十六倍ニ又云少半尺又端ノ三尺二寸半  
かくハ一丈九尺五寸と云

# 第十七

十七

門とおふく和と門ふくは

玉れハ六丈と成是、三里ノ村へ走る、より三  
三三三とこれハ計百十三石三斗、年貯三斗  
及四里村も六里ノ村も大六丈、走るよりと  
之れハめづく不走るや百村ても法立同  
▲傳馬と云ふたとて、何を傳百傳と云傳  
多す時、百傳と云ふと云がられ、罕  
不車傳と號と云、百傳と云は牛傳を表  
八斗之量と云れ、牛傳、半傳と號と云傳、  
ハ傳之量と云之大小凡て松三人合と云うす

門引門延、引、延、久、才、手、一、麿都記、  
五、豆、引、手、引、及、入、門、ニ、豆、引、ハ、お、手、  
カ、豆、引、に、あ、る、と、向、法、ニ、豆、引、と、走、八、少、長、  
か、三、て、ニ、豆、引、と、想、之、又、お、ニ、豆、引、ハ、門、あ、て、  
カ、豆、引、と、向、法、ニ、豆、引、と、走、十二、石、て、足、れ、ハ  
門、走、一、豆、引、ト、走、六、リ、ナ、シ、傳、何、と、ば、人、傳、  
方、  
門、ニ、豆、引、カ、走、て、ニ、豆、引、走、  
は、キ、と、門、て、足、れ、と、豆、引、

# 第十八

十八木戸介自定リ  
河内平野目老行武百尋目食立家  
大内百六十石 大内百七十石  
家八十石 家八十石  
小室五石又八分一石七合  
八分一石七合 八分一石六斗四升  
大和郡山目老行武百四拾目食立家  
大内百八十石 家一百二十石  
小室六十石 八分一石三十石

二玉引内ハ八石、けで  
三とハ十二て弓とん松  
二玉引内ハ十二とから無  
うちハ八石、弓とん松  
三分引内ハ九石とけて  
内 かハ一挺三て弓と  
三分引内ハ一挺三と  
うちハ九石て弓とん松  
右金浪米綱町役佐科お司子支度

二十一 一やうむきけ銀四百枚目と九千六  
百九十二見ノ丸まみ男ノ弐九二二男二男  
四男ハ若お色ミケトノ前

兄

二男

三男

四男

五男

吉銀人四百夷目

内八十夷目

内六拾六ス六百六十玉

内廿三ス三百四十三

法ニ高スモコ右ニ金五人、これハ八多威是ヒ  
シテムヨケ法ナニ見れハ卓ニテスニテ三家  
三十三リヒ威是ヲシテ候、而百六ス六夏  
ナ六ニシト六リヒ威是先ナシヒニ有ス三  
三三三三ノ才ナシヒニ左ニ金五人左に人ニ  
吉スニテスニ三多三十三リヒ威是引ナシヒニ先  
ナシナシヒ引ハ兄ナシ分半銀人ノ人殺ナシ  
ても法ナシナシ人左に人計ハ引キヒ六人  
ナシハ五人、引ヒ何と法ナシナシ

## 酒ノ買身

酒三百冬ニテ上中下ノ酒曰範墨ノ時  
沽白毛冬ニ武半 一三五三半下貯  
毛冬ニ厅白武半冬 一三五三半冬刻四丁  
毛冬ニ多ニ三半 一三五三半冬下貯  
三客食毛冬ニ三半リ三七五是作一丁  
大酒三百冬ニされハ武半冬ニ三半冬  
毛冬半下ノ酒半下殺ニ是、刻代移と毛  
沽白武半冬ニ三半冬 一三五三半冬六ト奇

斤白武半冬ニ三半冬 一九九十七冬ニトニリ  
ニ武半冬ニ三半冬 四八十一冬送ニリ  
酒合七冬武半冬九冬 代銀冬三百圓  
毛冬ニキミキく業ノ名をも菊ノ酒  
一毛冬トモとこう割代

## 二十三

味喫たくさん

大豆ノ武半冬半斗五斗

太金半斗二斗ヒル久あせ  
日一斗ニ一斗ヒル久あせカヒニキラ太金半斗ヒル久あせ  
カヒニキラ太金半斗ヒル久あせ

二十四

月家弓弓弓弓弓弓弓弓

月弓弓弓弓弓弓弓弓  
六十弓弓弓弓弓弓弓弓

向音六月弓弓

法七百目八十加五弓弓六十弓弓  
 申利根九三弓八十弓弓  
 向音六月弓弓弓弓弓弓弓弓  
 今第月八六月弓弓弓弓弓弓弓弓  
 法七百目三十三弓六十弓弓弓弓

八弓弓弓是弓六月弓弓弓弓弓弓  
 ▲本弓弓弓弓弓弓利九七百弓三五六十  
 五弓弓弓八六月弓六月弓弓弓弓弓弓  
 向音七百弓弓弓

法六月弓八十加五弓弓八十弓弓弓弓  
 申利根九百弓弓弓弓弓弓弓弓弓弓  
 申利根三弓六十弓弓弓弓弓弓弓弓  
 申利根八弓弓弓弓弓弓弓弓弓弓  
 申利根八弓弓弓弓弓弓弓弓弓弓

卷之四

古文真賞

卷之四

篇

七

七

新刊廣雅

卷之四

桟子五尺右妻株桟六十二尺にて  
 右柱左柱六寸半尺と歛之一尺四方六面ノ板  
 小一升六寸入左十六寸加右足  
 ▲今株ノ法三六四八ニセキトヨタモ二方  
 株口四寸九分四毫古右妻かれ守す  
 ま亦四極一尺板是より二寸七分が荒  
 いすノ株六恰四八三七五方小六四八七  
 小て是之是左代ドテ戸立高板子と  
 右柱左柱六寸四合又多寡半入之是を

今株ノ法三六四八二七五方角が三  
 七寸一尺六寸四毫水もかり又柱也  
 左柱右柱六寸四尺入左六寸六方  
 下柱うすりよへ今株ノ法十五四寸  
 かくえあねへづるかひおのづか引足  
 望之もあらはれノ株つりりノ妻角法と  
 竹桟子室主及株ノ法を加足  
 す 今株ノ法三六四八半十五五四寸  
 十六から法ハ右柱下

亦二

三角法

三寸六分

三寸六分

切合之法

金六分

金六分

二寸六分

二寸六分

寸六分

寸六分



右格體少下もしく是時も三角法之爲だれ  
卷之に云々と云ふ何十坪とあると又之  
あく時ひすノキかわ引とあくや木とおなむ

四寸三分

四寸三分

五寸六分

五寸六分

東北より北と云ふが三寸六分されば右太り直  
一寸三分九分五厘是代り一丈九寸四十三分と  
是れハ三寸六分四寸八分一厘一毫也

△三角法外つり時ハ一寸九寸三尺六分六厘也

四寸三分七分三厘也

四寸三分七分三厘也

三尺六分九寸六分七厘也

三尺六分九寸六分七厘也

今件はすゞ々定を云ふ  
八寸六分六寸八分八厘也

## 第三

六角ニニ又九八からおうト一方一尺

一尺寄内

一尺寄三トリ

六角十二切

入ち合れ

めぐらめめ



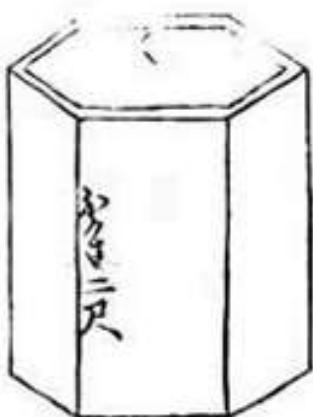
寸かれ、

一千五百九八尺

又一尺ノ角ハ三角六ツミ四三三六ツミ云

亨 六角ノ法ニ又九八六ツ小なる

四三三半ハ三角ノ法



六角中継する時ハ一方寸一尺左右小垂

か丸ハ一尺六角

ノ法ニ又九八六

ニ又九八と称せ、

又二尺から

み一九六ツ小なる

今稱法十又四

かられハ八計七合

四又九八六角

八計七合入

# 第四

才四 八角法四四二かうは八方兩一尺  
八角八方寸四半分四十二也多加之施也言  
かとがひ不されぬ御之ごそえく一尺四方  
と角かく角までをうかひとよ南くを  
考へしたるを一方寸八成合さんごくこ  
もひふれんゆき移向いきむけ一尺方大がそれ八元  
を八角は八角法八十二八四をうそほは、當至  
亨 八角法はをうそへうかひ  
亨 のひこうそへ一方寸

正中四方物と六角、六角一立方  
二尺四寸  
四百  
寸手  
又云  
法ニ尽とむ六角幾  
六二鉢四よかねせ手人  
手四ト鉢八三及之  
六方四尺  
又六角二方寸とむ法  
六二鉢四よかねせ六方  
一立方寸八成合八成合

右亦二切一方、十六又一方、十六又一ツと三ツ、割  
ありに左之上三十三切下しめがきりと  
丸ミ至トリ事ノ局不くねをす之  
▲田畠法三一六、又れ六九き移築又  
移築、三一六をかそれハ丸きめうり子  
立本おこうハ一尺九寸にめうり三尺十  
六分五厘之  
七十九またかうの事



# 第六

足ハ一尺一寸ニトスリノ四法 捩固ニテ  
才六 三角六角八角也ニ法ノモリ  
三角也ノ法一ヌ一九六ノミテラハ一尺四方小  
一寸モ百三三角法四三三五也テ最ハ二  
三鉢九二四ニラ法也用平法ニ足ハ三角一  
方守一尺又守一分九リ六モニラ法也おこう  
▲六角也ノ法六ニ鉢四モニラハ一尺也  
ま百足ニ足ノ法六角ノ法ニヌ九八モニれ  
三八四九ニラ法也用平法ニ正れハ六角一

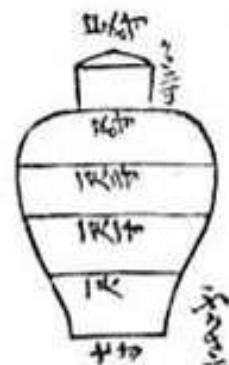
△四法ヲ四方ニテ御 四方ヲ四法ニテ御  
一尺四方内也 一尺又ニ四法也ニテ  
かれハ四法 捩固一尺一  
寸ニトスリラム又四法  
捺固也ニトニニスル  
て足ハ四方一方向ニテ  
右二三スリカロハ一尺四方モ  
百三四法七九ゴリニ六五  
八三ニラ法也用平法ニ

卷之三

卷之六

卷之三

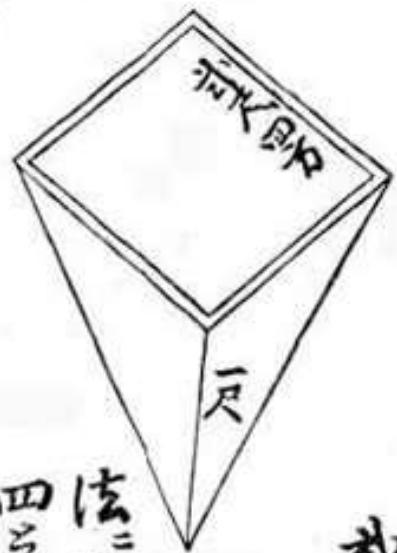
卷之二



法二口又寸有九分三厘二寸九分又  
二毫三丝四法七九分九厘二毫三丝一厘法  
十又五分四毫九分八厘六分三厘三毫三丝又  
二毫三丝四法七九分九厘二毫三丝一厘法  
十五分四毫九分八厘六分三厘三毫三丝又  
二毫三丝四法七九分九厘二毫三丝一厘法

四尺五寸を乞ひ、割九寸の板たるが  
あれハ八寸幅をへづれば八寸がれ、益  
八寸幅を三尺がれ、二九六寸幅を法  
ナムニはとがれ、卦七人立ヌと之  
ナムニハ多用ナリて、宣法ハ又食す之有  
也ノとク、又もえうても色あ  
かくともすと、うつきそと三五四  
七つからて、みあれ御とて、今義地  
教りに馬を又ハとかくするハサノ

一寸ノ梓千三百木三十三三至今木紫  
鉢斗七尺或又入



対六面坪千引ハ千斗鐵色とす高法三  
尺六百木三十三三至今木紫

加ハ千三百木三十三三至今木紫  
又字をかれハ鉢ト七尺或又と成  
▲右十一ヶ隙内すと九ヶ隙ノは、た  
上口を尺走寸、底八寸、さ一尺ノ縁  
あら上口二尺、寸左太三、走かれハ一寸、ま  
せ一尺、又セニ九寸左太三、走かれハ一寸、ま  
せ一尺、太二尺、今鉢百武ウ玉ニツドヒて百  
二尺、成是別ふ垂上口セニ一尺、今鉢尽  
ニツドヒて一尺、走かれ左太三、走かれ守

▲ 捕 卡 積 之 手

セウミ三尺



▲ 本名四斗七升八合又  
法二斗二升方丈太一斗  
加られハ一斗又四斗八  
十四升又应度丈八寸  
方丈一斗加られハ三百  
方丈一斗加られハ三百

斗四斗七升二口合八百碁八ツ五毛ニツドテ  
四斗四升四斗別中丈上口应度合四升五  
毛ニツドテ二尺三寸六分方丈太一斗加られ等

ま四冒三尺太別一毛四百写内引ハ四ツ  
す毛内至法三正れハ一三三三三三尺是  
引一毛四冒を加へ四冒七三三三三三尺是  
や三尺かれハ一寸十九坪を方丈半碁八  
十ニ碁是因法七九かれハ一寸降九千  
足百十六碁是今法十五五四  
かれハ毛内四十七卡八人一丈三步  
▲ 本名三斗二升八合又  
ち三尺と向定丈九丈二尺と云

うかひあゆ

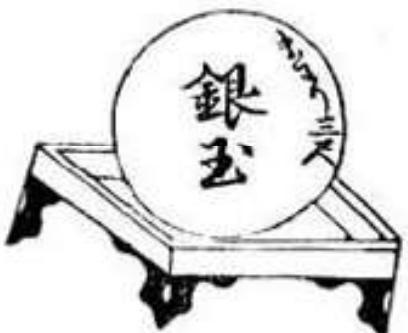
カ木ナツヤ一二尺六寸四分四角、けつ  
情やうにひうけんハ角ノ木もかまく  
向一尺七寸六分セリ七毛と云  
法、卦足八寸三毫、うかひ自一四一四二  
坐て見れハ一尺七寸六分セリ七毛ありて  
かひと木角ノ角をうかひをえられ  
同尺。

丸木ノめう七尺九寸五毫角木つう

時、七尺九寸ヒ太や金ラムニモ、法四四六  
九割ハ角ノ木も一尺七寸六分セリ七毛と云  
ば四四六九ノミテウハ先、七尺九寸五毫四四  
法三六三と見れハ枯樹、卦足八寸三毫  
うかひノ法一四一四二寸五毛と見れ、卦足八寸  
六分セリ七毛と云は四四法三六二法  
一四一四二とかけ合、それハ四四六九ちり入  
あり、みうニ度、弓代ヲ度えすむ  
よりは、用之

# 第十六

## 十六 用立圓法



法目百字をとれどす千八百七百字を

は玉ノがりきあは玉圓法  
三と半まわり三尺と半れ  
桔楠毛足玉五寸六分  
一尺五寸二尺かれ二寸  
玉半千玉球毛玉法  
六二丈をかくれハ一寸半  
百六十ニ玉玉毛玉(銀す)

或人自タク物のまゝがまとぞり狭字  
今名づけりかアトヨム首目口もあ  
所かあくノ内と空レトおうりハ  
シキの精を移ひ考乃人とつれ志  
事アと云そ方さゆハ入テ捕魚入  
主財をそよて水どりと申トウ久云  
ト並ク捕ふハを石入る考方ノ外水ど  
れをかうり入て水六ナリゆれども方ハ  
云ケ矣とソシカニモナドリラ

立方ニ武弓ノ家ニのキ一尺五  
切ツ半引テ二二丈九寸八分  
桙至同十二桙九分七厘又尾ハ長一尺五  
九寸七分六厘ヘト同義曰武千總十  
一段と云  
かくニ七十枚 平千百卒毅  
門 二千六十八枚 丸七百枚  
鬼瓦一枚 多半段少  
法二武弓ノカニも〇一乃至六尺守之也

戸のきを加へ七尺又八寸五分と尋ニテ  
右の法一寸一分ハリとかられ、八寸八分奇  
ノのひと筋是、七尺五寸ノ加へ六八尺寺  
八分又リ、筋是かくひの又序標を加  
へま丈六尺七寸七分と筋是六尺寺で  
日れ、武弓又三分ハリと筋是、長弓又を  
かくは、左筋梓十二梓九分と筋  
▲戸ノ教をあらハ左筋梓一梓ハ六尺寺四  
方こ見二トニスノ見七枚引、六尺寺

タニ寸ハ小口ノ筋を之を長一尺内ヌナシノカケ  
リハ丈寸ラ筋を之六尺内寸ヒヨレハ十  
三牧アラモロハ七枚カクルハ九十牧。筋  
エ平直ニ又丸角ハ切クニミドロ長五寸  
エミタラ六尺みすヒヨレハ牧一トミタ  
セ直カクルハ十七枚うち入筋右平之合  
百零八牧ラ筋乞ヘ筋袖十二件九ヒ  
カクルハ千九百五十九牧ラ筋又ひのり  
先テ平ニ起丸一匹以上三牧入ムモカク

ヒヨレガクルハ三丈六尺又守ラ筋至ヒヨレ  
一尺ヨレハ一角三十少筋等入モヒヨレ  
九十八牧。筋太干九百九牧加ヒ計千七  
牧。筋鬼多ヒヨレ筋入計千十牧。筋  
太危筋件十件ヒヨレ二件。守計一  
牧。筋

ヒヨレ瓦十二件九上正筋。筋袖件一件。守  
百六十牧ツ之。  
ヒヨレ筋之大とヒヨレ筋之大とヒヨレ筋之大と